

## 10 月度学術講演会

日 時	10 月 17 日 (土) 午後 2 時
演 題	実地臨床での喘息吸入療法 Up Date ～Evidence と Experience から考察する Best Practice in 2020～
講 師	北野病院 病院長補佐 兼 呼吸器内科部長 兼 感染症科部長 丸毛 聡 先生
出席者数	16 名
担 当	富永良子
共 催	ノバルティスファーマ(株)

ICS (吸入ステロイド) の普及により喘息死が減少した現在、重症喘息が課題となっている。コントロール不良喘息は 17.4%をも占めるが、真の重症喘息は 3.6%といった疫学調査があり、一見重症喘息でも基本的な吸入薬で十分管理が可能であることが示唆される。日本人成人喘息対象とした横断的調査 (ACQUIRE-2) ではコントロール良好の割合は 24.4%とわずか 4 分の 1 程度という状況である。ACQUIRE-2 での薬剤の使用状況をみると ICS もしくは ICS/LABA (LABA: 長時間作用型  $\beta 2$  刺激薬) の使用は 99%でほとんどの患者に導入されており、多くの患者が ICS (/LABA) の治療にも関わらず、コントロール不良である。しかし、併用薬の使用状況をみると全身性ステロイドが 10%導入されている中で LAMA (長時間作用型抗コリン薬) は 8.7%と全身性ステロイドよりも少ない状況であった。本邦のガイドラインにおいては治療ステップ 2 より LAMA の使用が推奨されているため、ICS/LABA に対して必要時に LAMA を追加することが望ましい。

LAMA は喘息において多面的な作用を発揮する薬剤である。ICS 単剤、もしくは ICS/LABA 使用患者に LAMA を追加することで肺機能が有意に改善することが確認されている。喘息患者における呼吸機能の低下は喘息増悪のリスク因子となるが、LAMA は肺機能が悪い喘息患者ほど改善効果が高い傾向がある。また、ICS および LABA の効果が減弱する現喫煙の喘息患者においても肺機能改善効果は減弱しない。高齢喘息は閉塞性障害を有する傾向にあり、より LAMA の効果が期待できる。また喘息患者の難治性咳嗽と咳感受性を改善する報告もある。すなわち、ICS/LABA に LAMA を追加することで、症状改善 (咳嗽・喀痰・呼吸困難)・肺機能改善が期待される。

上記のように ICS/LABA 治療下での喘息コントロール改善のためには LAMA 追加が必要である。ところで吸入デバイスが複数になることで増悪する可能性が高くなる報告が存在する。そのため複数のデバイスよりも 1 つのデバイス (SITT: single inhaler triple therapy) が実臨床下では推奨される。気管支喘息の適応として初めて ICS/LABA/LAMA を含有する SITT として発売された「エナジア」はまさに喘息コントロール改善の Key Drug といっても過言ではない。

吸入療法では「吸入薬側因子」と「患者側因子」が存在する。「吸入薬側因子」としては含有されている薬剤の違いがある。加えてデバイスの違いが存在している。デバイスには DPI 製剤と pMDI 製剤の 2 種類があり、患者毎にデバイスを選択する必要がある。「患者側因子」としては吸入手技とアドヒアランスの 2 つが重要である。吸入手技、アドヒアランスがどちらかが不良であると増悪の因子となる。「吸入薬側因子」と「患者側因子」の双方を地域レベルで連携した吸入指導システムで支えることでより良好な治療効果を得ることができる。医療連携の取り組みとして北野病院では 2006 年 9 月 1 日に吸入指導ネットワークを設立した。病院薬剤師が保健薬局薬剤師を育成する医療連携 (病薬連携+薬薬連携) のシステムを構築した。また大阪市北区として北野病院、済生会中津病院、住友病院の 3 病院と医師会で連携し、おおさか吸入支援指導システムを設立し、地域で同一レベルの吸入指導ができるようになった。2020 年度診療報酬改定では「吸入指導加算」(30 点、3 ヶ月に 1 回限り加算) が新設されたことにより吸入指導の重要性が増している。将来的に超高齢化社会を迎えようとしている日本において「吸入薬側因子」と「患者側因子」の 2 つを支える地域毎の強固な吸入指導・システムが必要とされている。

以上のように、喘息のコントロールは ICS/LABA 導入下においても医師が考えるよりも悪いが、LAMA を加えた Triple Therapy によりコントロール改善が期待される。エナジアは、含有薬剤とデバイスに優れた喘息に承認された初めての SITT であり、喘息コントロール向上に期待される。